

フッ化物洗口について。

虫歯予防に有効だという利点だけが強調されて、フッ化物洗口の取り組みが県下で進められようとしている。負の側面は、ほとんど話題になっていない。両面を保護者へ説明して、保護者の判断に任せるのがよいと思う。

私は、学生時代に科学の実験でフッ素化合物を使ったことがあった。実験室でびっくりしたのは、ガラスも溶かすほどの劇薬だったことを鮮明に覚えている。もちろん、洗口に使用されるものは化合物の種類と濃度に違いはあるだろう。とにかく、取り扱いは慎重にしたほうがよいというのが私の経験上の感想である。

本村議員質問：フッ化物洗口について、どのように考えているか。

教育長答弁：フッ化物洗口の実施につきましては、文部科学省や県教育委員会において、特に推奨しているところではありませんが、県教育委員会としましては、それぞれの学校で実施する場合は、厚生労働省通知による「フッ化物洗口ガイドライン」に基づき、具体的方法や期待される効果、安全性に関する保護者への説明を行い、同意を得て実施するよう指導しているところであります。

フッ化物洗口は、歯の質を強くすることや、むし歯予防に効果があることは認識しておりますが、全ての保護者の承諾が必要であること、教師が一斉に指導する時間を確保すること、薬剤の保管・管理のための設備が必要であることなど、学校での実施については様々な課題が残されているところであり、本市の学校においては、現段階では実施する予定はありません。

本村議員質問：洗口に使用するフッ化物の正式な名称は何か、このフッ化物は、どのような性質を持っているか。また、他にはどのような用途に用いられるか。

教育長答弁：洗口に使用するフッ化物の正式名称は、フッ化ナトリウム水溶液のことであり、無色の固体で、カルシウムによる歯の再石灰化を促進したり、むし歯に強い歯をつくったりする性質があります。

本村議員質問：フッ化物の保管・管理は誰が責任を持つか、保管場所はどこか、誤飲した場合、その後の処置は誰がどのように行うか。

教育長答弁：現在、本市においては実施する予定はないため、保管場所等については検討しておりません。